



2023年6月21日

各 位

会社名： サツドラホールディングス株式会社
代表者名： 代表取締役社長 CEO 富山 浩樹
(コード：3544 東証プライム・札証)
問合せ先： 経営管理グループ グループリーダー
加賀谷 大輔
(TEL. 011-788-5166)

プライム市場の上場維持に向けた適合計画の進捗状況（変更） 及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月17日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」、2022年8月10日に「上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について」及び2023年3月17日に「上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について」を提出し、その内容について開示しております。

今般、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所（以下「東証」）の規則改正に伴い、スタンダード市場への上場の再選択の機会が得られたことから、直近でのプライム市場の上場維持基準への適合状況を踏まえ、本日の取締役会でスタンダード市場への選択申請することを決議するとともに、申請書を東証へ提出いたしましたので、お知らせいたします。

なお、スタンダード市場への選択理由及びスタンダード市場の上場維持基準への適合状況についても、下記のとおりです。

記

1. 当社のプライム市場の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社は、2022年4月の東証の市場区分の見直しに際して、2021年12月17日にプライム市場を選択する申請書を提出し、併せて移行基準日（2021年6月30日）に「流通株式時価総額」及び「1日平均売買代金」が当該市場の上場維持基準を充たしていなかったことから、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（以下「適合計画書」）を開示いたしました。当社は、適合計画書に基づき、2024年5月期までの充足を目指し、各種施策に取り組んでまいりましたが、下表のとおり、直近基準日時点において、「1日平均売買代金」については基準を充たしたものの、「流通株式時価総額」は基準を充たしておりません。

		株主数	流通 株式数	流通株式 時価総額	流通株 式比率	1日平均 売買代金	純資産 の額
当社の 適合状況 及び その推移 ※1	2021年6月30日時点 (移行基準日)	7,324人	22,850 単位	49億円	48.1%	0.15億円	-
	2022年5月15日時点	10,550人	74,038 単位	49億円	52.0%	-	-
	2022年12月31日時点		-	-	-	0.36億円	-

	2023年5月15日時点	11,884人	72,937 単位	60億円	51.2%	0.38億円 ※2	88億円 ※3
プライム市場の上場維持基準		800人	20,000 単位	100億円	35.0%	0.2億円	純資産の 額が正
当初の計画に記載した計画期間			-	2024年 5月期	-	2024年 5月期	
適合状況		○	○	×	○	○	○

※1 東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分析状況等をもとに算出を行ったものであります。

※2 2023年4月末以前1年間における東証の売買立会での金額を日次平均にして当社が算出を行ったものであります。

※3 2023年5月15日時点において当社が算出を行ったものであります。

2. プライム市場の上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2022年5月～2023年5月）

今回、基準を充たしていない「流通株式時価総額」に対し、上場維持基準を充たすための取り組みとして、中期経営計画の推進による業績の向上を目指すとともに、統合報告書に当たる「地域コネクティッドレポート2023」を発行する等、情報開示の充実化とIR活動の強化を通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。しかしながら、2023年5月期の業績は、物価上昇による生防衛意識の高まりを受け、お客さまの来店頻度の減少に伴い客数は減少したことに加え、消毒剤をはじめとする新型コロナウイルス感染症関連商品等の商品評価損の計上等により、計画の目標値には未達となり、直近基準日時点での「流通株式時価総額」はプライム市場の上場維持基準値に達していません。

3. スタンダード市場の選択理由

今回、基準を充たしていない「流通株式時価総額」については、仮にプライム市場において経過措置中に基準を充たした場合でも、安定的・継続的に充足する状態が保てなかった場合、将来的に上場維持基準を達成できないリスクがあることから、当社の株主・投資家の皆様が不安を持つことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を整えることが重要だと判断いたしました。また、当社は2026年5月期を最終年度とする中期経営計画において「地域の生活総合グループへの進化」をテーマに、中核事業であるリテール事業の収益基盤を強化しつつ、事業領域を「モノを売る」だけの小売から「モノ×サービス」を提供する生活サービスの領域に拡大することにより、グループ全体の成長を目指しております。かかる状況下、経営資源をこれらの活動に集中的に投下し、各事業の推進と収益力の強化に最優先で取り組むことが、企業価値向上と当社のステークホルダーにとって最適であると判断し、スタンダード市場を選択することといたしました。

なお、所属する市場区分にかかわらず、当社は今後も株主・投資家の皆様との積極的な対話やコーポレート・ガバナンスの充実に取り組み、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

4. スタンダード市場の上場維持基準の適合状況

当社のスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりとなっており、2022年7月～12月の月平均売買高基準も10単位以上あることから、スタンダード市場の全ての上場維持基準に適合しております。

		株主数	流通 株式数	流通株式 時価総額	流通株 式比率	月平均 売買高	純資産 の額
当社の 適合状況 ※1	2023年5月15日時点	11,884人	72,937 単位	60億円	51.2%	9,660 単位 ※2	88億円 ※3
スタンダード市場の上場維持基準		400人	2,000 単位	10億円	25.0%	10単位	純資産の 額が正
適合状況		○	○	○	○	○	○

※1 東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分析状況等をもとに算出を行ったものであります。

※2 2022年7月～12月における東証の売買立会での売買高を月次平均にして当社が算出を行ったものであります。

※3 2023年5月15日時点において当社が算出を行ったものであります。

なお、当社は、スタンダード市場への上場の選択申請時点で、当該市場全ての上場維持基準に適合している状況にあることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、当該市場の上場維持基準にいずれかに適合しない状況とならない場合、「(スタンダード市場の) 上場維持基準への適合に向けた計画」の開示の必要はありません。

5. スタンダード市場への移行予定日

スタンダード市場への移行予定日は2023年10月20日となります。

以上